2026年９月４日

各　　位

上場会社名　　トミタ電機株式会社
代表者氏名　　代表取締役社長　　神谷　陽一郎
（コード番号　　６８９８）
問合せ先責任者　管理本部総務課長　福田　　実
（ＴＥＬ　　０８５７－２２－８４４１）

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2026年３月12日、及び、2026年６月12日に公表した、2027年１月期第２四半期（中間期）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

（1）2027年1月期第２四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2026年２月１日～2026年７月31日 ）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	870	22	23	15	18.73
今回修正予想（B）	972	48	70	56	69.56
増減額　（Ｂ－Ａ）	101	26	47	41	
増減率　　（%）	11.7	116.9	204.4	271.4	
（ご参考）前期第2四半期実績（2026年1月期第2四半期）	730	△ 47	△ 26	127	156.42

（2）2027年1月期第２四半期（累計）個別業績予想数値の修正（2026年２月１日～2026年７月31日 ）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	１株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	555	4	6	0	1.10
今回修正予想（B）	557	△ 11	0	△ 0	△ 1.18
増減額　（Ｂ－Ａ）	2	△ 16	△ 6	△ 1	
増減率　　（%）	0.4	－	△ 88.6	－	
（ご参考）前期第2四半期実績（2026年1月期第2四半期）	458	△ 38	△ 35	117	144.74

（3）修正の理由

＜連結業績＞

2027年1月期第2四半期累計期間におきましては、国内市場においては長期化していた顧客の在庫調整の改善、また、設備投資需要の回復により、半導体製造装置向け、FA向け等の産業機器需要は増加いたしました。一方、中国市場におきましてもEVを中心とした車載市場の需要が堅調に推移する中、当社製品の拡販活動を国内外市場で積極的に展開しました。その結果、売上高は９億７千２百万円（前期比３３．１％増）となる見込みです。損益面では、原価率の改善、ならびに経費等の削減に努めた結果、営業利益は４千８百万円（前期は４千７百万円の営業損失）、経常利益は７千万円（前期は２千６百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する中間純利益は５千６百万円となる見込みです。

通期の業績予想につきましては、中東情勢の影響、金融市場の変動や地政学リスクへの懸念など、見通しが不透明であるため、前回業績予想を据え置きました。

＜個別業績＞

2027年1月期第2四半期累計期間におきましては、連結業績において記載した内容と概ね同様の理由により、売上高は５億５千７百万円、営業損失は１千１百万円、経常利益は78万円、中間純損失は96万円となる見込みです。

通期の業績予想につきましては、連結業績と同様の理由により据え置きました。

（注意事項）

上記に記載した予想は、作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以　上